

登録コード	HM134800	開講年度	2026			
授業題目	循環病態学特別研究				担当教員	新藤 隆行 他
英文授業名	Research Thesis in Cardiovascular Research				副担当	櫻井 敬之・神吉 昭子
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	3年
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				循環器疾患のモデルの作成と解析について、生化学、生理学、病理学的研究手法を修得する。	
(2)詳細 /Detailed information						
(3)授業の概要 /Overview of course	循環器疾患モデルの開発とそれを用いた新しい医薬の開発についての医学研究を指導する。 各自に研究テーマを与えて、個別に研究指導する。					
(4)授業計画 /Course plan	通年を通して実施する。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究の進捗レポートを提出する。 定期的に研究進捗のプレゼンテーションを行う。 定期的に学会、研究会において研究発表を行う。 【成績評価の基準】 以下の項目を総合的に評価し、可否を判定する。 1. 専門知識と理解度 (30%): 循環病態学に関する専門的な論文を読み解き、病態生理学的な背景や研究課題を正確に理解しているか。 2. 研究遂行能力 (30%): 適切な実験計画を立案し、科学的・倫理的妥当性をもって研究を遂行できているか。 3. 論理的思考力と分析力 (20%): 得られた実験データを正確に解析し、客観的かつ論理的な考察が行えているか。 4. プレゼンテーション・討論能力 (20%): 定例ミーティングや学術集会等において、自身の研究内容を論理的に説明し、質疑応答に適切に対応できるか。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	テキストは特定しないが、個人の進捗に併せて提示する参考書、論文、マニュアルなどを用いて、事前事後学習を行うこと。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	旭総合研究棟2階203号室 循環病態学教室 (内 5117) にて、随時、質問、相談を受け付ける。					
(8)授業の形式 /Course format	演習					